

# 平成30年度主要事業

30年度に実施予定の主要事業と予算は次のとおりです。

切れ目のない  
子育て支援のまちづくり

## えびな子どもセンターの開設

保健相談センターを「えびな子どもセンター」として開設。出産・子育て・学校教育を通じた長期的な視点で子どもたちの生活環境に対応した支援体制を構築するため、こどもに関わる部署を1施設に集約しました。



便利で快適なまちづくり

## 並木橋歩道橋架設事業の推進

13億5000万円(5カ年総額)

並木橋の交通渋滞の緩和を図るとともに歩行者の安全確保を行うため、歩車を分離し新たな歩道橋を架設。海老名駅東西地区を結ぶ交通の要所として快適な道路空間を整備します。



## (仮称)上郷河原口線ほか 西口地区道路整備の推進

8億3500万円

海老名駅西口地区における道路交通の円滑化と利便性向上のため、JR相模線と相鉄厚木線(貨物線)の線路をアンダーパス構造で横断する(仮称)上郷河原口線など、都市基盤の整備を行います。

誰もがいきいきと  
暮らせるまちづくり

## 基幹型地域包括支援センターの開設

市内6カ所の地域包括支援センターを統括する基幹型地域包括支援センターを設置し、高齢者への支援体制を強化します。



## 障害者支援センターあきばの開設

在宅の障がい者が地域で自立した生活が送れるよう、上今泉に新たな障がい者福祉サービスの拠点となる「海老名市障害者支援センターあきば」を開所しました。



未来を担う子どもたちが  
健やかに育つまちづくり

## 全小学校へのタブレット端末の導入

2300万円

市内全小学校にタブレット端末を導入。情報の収集・伝達・共有のツールとしてインターネットなどを授業に活用するICT教育の推進を図ります。

## 中学校に整形外科医・ トレーナーを派遣

40万円

部活動における生徒のケガや故障を未然に防止するため、整形外科医やトレーナーが中学校を巡回し、効果的なトレーニング方法などを指導します。

にぎわいと活力のある  
産業を生むまちづくり

## 海老名運動公園周辺地区に 工業系市街地を創出

3億3000万円

良好な市街地形成と適正な産業立地を誘導するため、組合施行の土地区画整理事業を推進します。

安全・安心なまちづくり

## 市内防犯カメラの ネットワーク化

2100万円

市内90カ所に設置している防犯カメラをクラウドサービスによりネットワーク化することで、犯罪抑止力の強化を図ります。



## 危機対応型起震車の導入

5200万円

平時は防災意識を啓発するための地震体験車として、災害時は被災地で災害対策本部として運用できる機能を装備し、緊急走行できる全国初の危機対応型起震車を導入します。



## 災害時情報収集活動用 ドローンを配備

900万円

災害時のさまざまな場面でドローンを活用し、被災状況の確認・調査など効果的に情報収集を行います。

## 若者(学生)定住促進 家賃補助事業の継続

400万円

市への転入および定住を促進するため、市外から転入する学生に対して家賃を補助します。



## 市の魅力を市内外にPRする シティプロモーションを強化

1100万円

「住みたい住み続けたいまち海老名」をスローガンに鉄道やバスへの広告掲載などさまざまな媒体を活用して、海老名の魅力を戦略的に発信します。



若者定住促進  
奨学金返還補助事業の継続  
2000万円

転出を抑制し、転入を促進するため奨学金を返還する30歳未満の社会人に対し補助金を交付します。

